

## 社会システム研究科 地域コミュニティ専攻 修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

社会システム研究科地域コミュニティ専攻は、以下の能力を有すると認められた者に修士(人間関係学)の学位を授与します。

### ■ 高度な専門的知識・技能

- 個人や社会に関する理論的枠組みと社会的・文化的諸課題に関する高度な専門的知識と技能を身につけている。
- 人間の基本的特性について理解を深めていくための高度な専門的知識と技能を身につけている。

### ■ 高い問題解決能力と表現力

- 個人や社会に関する理論的枠組みと社会的・文化的諸課題を見定める高い思考・判断・表現力を身につけている。
- 人間の基本的特性に関わる諸課題への最適な解決方法を導き出す高い思考・判断・表現力を身につけている。

### ■ 高い倫理観に基づいた自律的行動力

- 高い倫理観に基づき人間関係に関わる諸課題への実践的な対応策を提示する態度を身につけている。
- 人間関係に関わる諸課題へ対応するため自律的に行動する態度を身につけている。

## 社会システム研究科 地域コミュニティ専攻 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

地域コミュニティ専攻では、修了判定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を実現するために、以下のとおり教育課程を編成し、実施します。

### 教育課程の編成

#### （編成の方針）

- 1 地域コミュニティ専攻は、地域コミュニティの現代的再生を目指し、人間関係に係る学際的学問領域を統合した高度専門リカレント教育と高度な専門職業人及び研究者の養成のため、教育課程を編成する。
- 2 教育課程には、地域コミュニティの視点から論理的に考察する力、およびコミュニケーション力を養成しつつ、自身の考えや判断を効果的に表現できる力を養成するため、共通して備えておくべき能力を養成するための「専攻共通科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」、「特別研究科目」の4つの科目区分で編成する。

#### （教育課程の構成）

※（ ）は修了に必要な最低単位数で、修了要件単位数 30 単位の内訳

地域コミュニティ専攻の教育課程は、編成の方針に基づき、「専攻共通科目」(2)、「専門基礎科目」(6)、「専門科目」(6)、「特別研究科目」(8)で構成する。

- 1)「専攻共通科目」(2)は、現代の社会システム全般を対象として取り上げ、多領域的な視点からアプローチしていくことを学ぶための科目である。
- 2)「専門基礎科目」(6)は、人間の基本的特性についての深い知識を獲得し、複眼的視野から探求していく高度な能力を養成していく科目である。地域コミュニティ専攻の提供科目から少なくとも 6 単位数以上を修得する。
- 3)「専門科目」(6)は、社会的・文化的諸課題に関する専門知識や能力を修得させるための科目である。地域コミュニティ専攻の提供科目から少なくとも 6 単位数以上を修得する。
- 4)「特別研究」(8)は、自ら研究課題を設定し研究活動を遂行できる創造力、自立力を養成するために、指導教員による個別指導を受ける必修の科目区分とする。

### 教育の内容・方法

- ・ 授業は、講義、演習のいずれかにより、又はこれらの併用により行う。
- ・ 学生が主体的に学び、協働して課題解決に取り組むとともに、学習意欲・関心を高め、生涯にわたって学び続ける力を養うため、課題解決型学習 (PBL)、グループワーク、プレゼンテーションなど、能動的学習 (アクティブ・ラーニング) の手法を授業形態に応じて効果的に取り入れる。
- ・ 予習・復習等、授業時間外の学修について、シラバスへの内容記載や授業での喚起等により、

適切な学修時間の確保を促す。

## 学修成果の評価

- ・ 授業科目の成績評価は、試験、受講態度、並びにレポートや課題、ディスカッション、プレゼンテーションへの取組状況や成果等によって厳格に判定する。成績が一定の水準に達したと認められた場合に、所定の単位を認定する。
- ・ 修了するためには、所定の科目を含めた 30 単位以上の修得、必要な研究指導を受けた上で、学位請求論文等の提出を必要とする。
- ・ 学生に授業評価等を実施し、個別科目での学生の理解度や授業・教員への要望、及び学修達成状況などを把握し、その結果を授業や教育課程の改善に役立てる。

# 社会システム研究科 地域コミュニティ専攻 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

社会システム研究科地域コミュニティ専攻は、次のような人を求めます。

## 求める学生像

- 生活の場である地域コミュニティに貢献する保健、福祉、教育等の専門職に従事し、リカレント教育の一環として学習を希望する社会人
- 地域における問題や課題を認識し、地域コミュニティが直面する問題を実践的に探求、解決しようとする意欲をもつ人
- 心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学などの分野について関心を持ち、専門的研究を目指す学生および留学生

## 求める能力

### 【知識・技能】

- ・ 心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学についての専門的研究に必要な基礎知識を有している。
- ・ 日本語に基づいたコミュニケーション能力と資料分析に必要な基本的技能を身につけている。

### 【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 心理学、社会学、社会福祉学、人類学、環境学、生涯学習学、教育学の分野における様々な課題を解決するための思考力・判断力を有している。
- ・ 研究活動を通じて得られた成果を、論文・学会などで適切に発表する表現力を身につけている。

### 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・ 研究者としての自律的な主体性を持って自らの研究に取り組むことができる。
- ・ 地域社会や学会の多様な人々と協働して問題の解決に取り組む素養を持っている。